

≪QE予測シリーズ No.2013-1≫

2013年1～3月期GDP統計予測

(1) 2013年1～3月期の実質GDP成長率は、前期比年率+3.2%（前期比+0.8%）と成長率が加速し、4四半期ぶりの高成長となった見込み（図表1）。個人消費が前期に続き高い伸びとなったほか、外需も4四半期ぶりにGDPに対する寄与度がプラスに転換し、内外需ともに景気を押し上げ。

①個人消費（前期比年率+3.3%、前期比+0.8%）

エコカー補助金終了に伴う自動車販売の反動減が一巡したことに加えて、政府・日銀による経済・金融政策を期待した株高が、消費者マインドの改善や資産効果を招来。春物衣料のほか、高額商品なども好調に推移。

②外需（前期比年率寄与度+0.5%ポイント、前期比寄与度+0.1%ポイント）

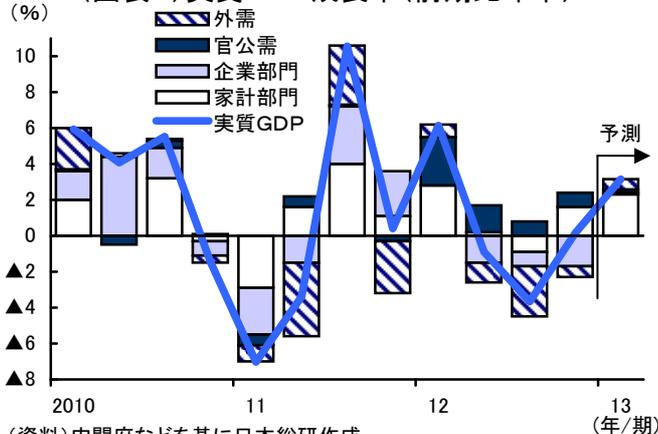
輸入ではエネルギー関連財などで高止まりが続いたものの、輸出は底堅い成長が続く米国やアジア向けを中心に増加。輸出の伸びが輸入の伸びを上回った結果、外需のGDP寄与度は4四半期ぶりにプラス転換。

③官公需（前期比年率寄与度+0.2%ポイント、前期比寄与度+0.0%ポイント）

震災からの復興需要が引き続き顕在化している一方、緊急経済対策については現時点で本格的な実施には至らず。公共投資に対して先行性を有する公共工事請負金額の増勢が一服するなど、官公需のGDP寄与度は前期から縮小。

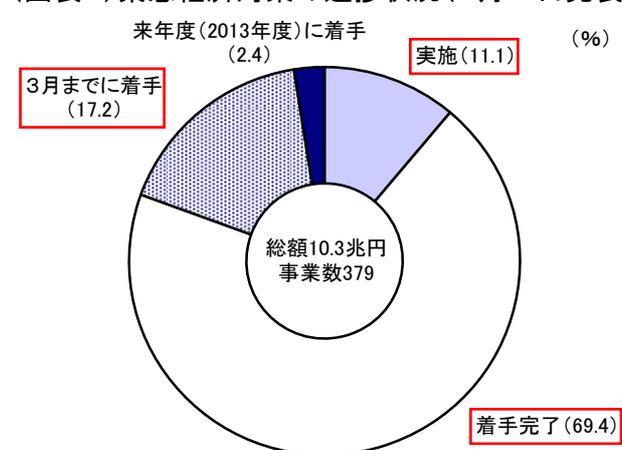
(2) 4～6月期を展望すると、①安倍政権が打ち出した緊急経済対策の本格的な進捗に伴い公共投資が大きく増加すること（図表2、3）、②米国の堅調な経済成長や昨秋からの円安を受けて、輸出環境が改善に向かうこと、③消費者マインドや企業の景況感の改善などが個人消費や設備投資にプラスに作用すること、などから、比較的高い成長率が続く見通し。

(図表1) 実質GDP成長率(前期比年率)



(資料)内閣府などを基に日本総研作成
 (注1)家計部門=民間最終消費支出+民間住宅
 (注2)企業部門=民間企業設備+民間在庫品増加
 (注3)官公需=政府最終消費支出+公的固定資本形成+公的在庫品増加
 (注4)外需=輸出-輸入

(図表2) 緊急経済対策の進捗状況(3月26日発表)



(資料)内閣府
 (注)進捗状況について、「実施」は独立行政法人などが民間企業と契約した状況、「着手完了」は国から独立行政法人などへ補助金を交付したものの、実施までには至らない状況を指す。

(図表3) 緊急経済対策の景気押し上げ効果(試算)

(%ポイント)

実質GDP(2013年度)	+0.8
国内民需(寄与度)	(+0.1)
官公需(寄与度)	(+0.7)

(資料)財務省、内閣府などを基にマクロモデルによりシミュレーション
 (注1)復興関連は復興債償還が大部分を占めることからGDP押し上げに寄与しないと想定。
 (注2)地方向け臨時交付金は詳細不明のため7割がGDPの押し上げに寄与すると想定。

【ご照会先】 調査部 研究員 下田裕介 (shimoda.yusuke@jri.co.jp, 03-6833-0914)

≪QE予測シリーズ≫は、直近四半期の日本経済、および法人企業統計の概況を解説するとともに、四半期別GDP速報の予測値と当面の景気見通しを示すものです。1次速報値と2次速報値について、年合計8回発表します。

GDP統計予測表(2013年4月30日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

■ 前期比

(%、十億円)

	実質GDP													名目GDP	デフレーター	
	内需								外需							
	民需				官公需				輸出		輸入					
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫									
2011/ 10 ~ 12	0.1	0.9	1.3	0.5	▲ 0.9	8.0	▲ 1869.3	▲ 0.3	0.3	▲ 3.1	▲ 55.2	▲ 3805.4	▲ 3.1	1.7	▲ 0.1	▲ 0.2
2012/ 1 ~ 3	1.5	1.3	0.9	1.2	▲ 1.7	▲ 2.5	1558.5	2.7	1.5	8.5	▲ 29.7	1292.9	3.4	2.1	1.4	▲ 0.1
4 ~ 6	▲ 0.2	0.0	▲ 0.4	▲ 0.0	2.2	▲ 0.1	▲ 1720.3	1.5	0.4	6.2	33.3	▲ 1169.3	0.0	1.7	▲ 0.5	▲ 0.3
7 ~ 9	▲ 0.9	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	1.7	▲ 3.3	1171.1	0.8	0.4	2.6	28.0	▲ 3992.5	▲ 5.1	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 0.1
10 ~ 12	0.0	0.2	▲ 0.0	0.5	3.5	▲ 1.5	▲ 1041.0	0.8	0.7	1.8	▲ 48.7	▲ 1269.0	▲ 3.7	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 0.4
2013/ 1 ~ 3	0.8	0.6	0.7	0.8	1.4	0.1	82.1	0.2	0.2	0.1	19.4	995.7	2.7	1.5	0.6	▲ 0.2

■ 前期比年率

(%、十億円)

2011/ 10 ~ 12	0.4	3.6	5.1	2.1	▲ 3.4	36.0	—	▲ 1.3	1.2	▲ 11.9	—	—	▲ 11.8	7.0	▲ 0.6	▲ 1.0
2012/ 1 ~ 3	6.1	5.2	3.5	5.0	▲ 6.5	▲ 9.5	—	11.0	6.3	38.4	—	—	14.2	8.6	5.7	▲ 0.4
4 ~ 6	▲ 0.9	0.2	▲ 1.6	▲ 0.1	9.1	▲ 0.3	—	5.9	1.7	27.1	—	—	0.2	6.8	▲ 2.1	▲ 1.2
7 ~ 9	▲ 3.7	▲ 1.0	▲ 2.4	▲ 1.9	6.8	▲ 12.5	—	3.3	1.6	10.7	—	—	▲ 19.0	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 0.4
10 ~ 12	0.2	0.8	▲ 0.1	2.0	14.9	▲ 5.7	—	3.3	2.7	7.2	—	—	▲ 14.0	▲ 9.0	▲ 1.3	▲ 1.5
2013/ 1 ~ 3	3.2	2.4	3.0	3.3	5.7	0.3	—	0.6	0.6	0.3	—	—	11.1	6.1	2.2	▲ 0.9

■ 前年同期比

(%、十億円)

2011/ 10 ~ 12	▲ 0.3	1.0	1.5	1.2	3.3	9.9	▲ 1070.2	▲ 0.6	1.0	▲ 7.4	17.1	▲ 1540.7	▲ 2.6	5.7	▲ 1.8	▲ 1.5
2012/ 1 ~ 3	3.4	4.3	4.7	4.0	▲ 0.1	6.9	181.6	3.0	2.4	5.0	26.0	▲ 935.3	0.9	6.7	2.3	▲ 1.1
4 ~ 6	3.9	3.9	3.9	3.1	4.6	7.3	76.6	3.8	2.6	11.3	▲ 11.9	248.5	9.2	9.1	2.9	▲ 1.0
7 ~ 9	0.4	1.9	1.1	1.3	1.4	1.5	▲ 219.5	4.6	2.6	15.1	▲ 1.8	▲ 1922.2	▲ 4.8	5.1	▲ 0.4	▲ 0.8
10 ~ 12	0.5	1.3	▲ 0.1	1.1	5.7	▲ 7.0	▲ 7.6	6.0	3.0	19.6	▲ 5.5	▲ 1318.6	▲ 5.7	0.7	▲ 0.2	▲ 0.7
2013/ 1 ~ 3	▲ 0.1	0.6	▲ 0.4	0.8	9.0	▲ 4.7	▲ 361.4	3.4	1.6	10.8	8.2	▲ 1313.0	▲ 6.1	0.2	▲ 1.3	▲ 1.2

■ 前期比・寄与度

(%、%ポイント)

2011/ 10 ~ 12	0.1	0.9	1.0	0.3	▲ 0.0	1.0	▲ 0.4	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.3	—	—
2012/ 1 ~ 3	1.5	1.3	0.7	0.7	▲ 0.0	▲ 0.3	0.3	0.7	0.3	0.4	▲ 0.0	0.2	0.5	▲ 0.3	—	—
4 ~ 6	▲ 0.2	0.0	▲ 0.3	▲ 0.0	0.1	▲ 0.0	▲ 0.3	0.4	0.1	0.3	0.0	▲ 0.3	0.0	▲ 0.3	—	—
7 ~ 9	▲ 0.9	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.3	0.0	▲ 0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	▲ 0.7	▲ 0.8	0.1	—	—
10 ~ 12	0.0	0.2	▲ 0.0	0.3	0.1	▲ 0.2	▲ 0.2	0.2	0.1	0.1	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.5	0.4	—	—
2013/ 1 ~ 3	0.8	0.6	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	▲ 0.3	—	—

■ 前期比年率・寄与度

(%、%ポイント)

2011/ 10 ~ 12	0.4	3.6	3.9	1.2	▲ 0.1	4.7	▲ 1.4	▲ 0.3	0.2	▲ 0.5	▲ 0.0	▲ 3.0	▲ 1.8	▲ 1.1	—	—
2012/ 1 ~ 3	6.1	5.3	2.7	3.0	▲ 0.2	▲ 1.3	1.2	2.7	1.3	1.6	▲ 0.0	0.7	2.1	▲ 1.4	—	—
4 ~ 6	▲ 0.9	0.2	▲ 1.2	▲ 0.0	0.3	▲ 0.0	▲ 1.3	1.5	0.3	1.2	0.0	▲ 1.1	0.0	▲ 1.1	—	—
7 ~ 9	▲ 3.7	▲ 1.0	▲ 1.8	▲ 1.1	0.2	▲ 1.7	0.9	0.8	0.3	0.5	0.0	▲ 2.5	▲ 2.9	0.3	—	—
10 ~ 12	0.2	0.8	▲ 0.0	1.2	0.4	▲ 0.8	▲ 0.8	0.9	0.5	0.4	▲ 0.0	▲ 0.5	▲ 2.0	1.5	—	—
2013/ 1 ~ 3	3.2	2.5	2.3	2.0	0.2	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.5	1.6	▲ 1.0	—	—

■ 前年同期比・寄与度

(%、%ポイント)

2011/ 10 ~ 12	▲ 0.3	1.0	1.2	0.7	0.1	1.1	▲ 0.8	▲ 0.1	0.2	▲ 0.3	0.0	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 0.7	—	—
2012/ 1 ~ 3	3.4	4.6	3.8	2.3	▲ 0.0	1.0	0.1	0.7	0.5	0.2	0.0	▲ 0.7	0.2	▲ 0.9	—	—
4 ~ 6	3.9	4.1	3.1	1.9	0.1	0.9	0.1	0.9	0.5	0.4	▲ 0.0	0.2	1.4	▲ 1.2	—	—
7 ~ 9	0.4	2.1	0.9	0.8	0.0	0.2	▲ 0.2	1.0	0.5	0.5	▲ 0.0	▲ 1.5	▲ 0.8	▲ 0.7	—	—
10 ~ 12	0.5	1.4	▲ 0.1	0.7	0.1	▲ 0.9	▲ 0.0	1.4	0.6	0.8	▲ 0.0	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.1	—	—
2013/ 1 ~ 3	▲ 0.1	0.6	▲ 0.3	0.5	0.2	▲ 0.7	▲ 0.3	0.8	0.3	0.5	0.0	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.0	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。